慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	前号目次 次号予告 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.3, No.4 (1910. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19100415-0139

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

東潔白花」の詩を詠じて專ら講説著述の儒者的生活に入れり、之れ彼が生涯の一轉化にして、更に再轉化に於て彼は既に悲劇の人となれり、蓋、當時に於ける關東の學者が徒らに朱學の範圍内に跼蹐として、一生を四書五經の註解に終るに反して彼の講義は活きて働かすを本意となし、時に經書の本文と時世とを比較し、老中誰殿が箇樣の處置は論語の趣意と矛盾するとか、城代誰殿のかくあるは此孟子の語に相違すと云ふ風に批評を加ふるにあり、斯くて此實世間を忘るゝと能はざる活學者は、時世の益々非なるを見て、一朝同志を語ひ白刃長槍を携へ、火を放ち銃を發し、市街を横行して捕手の人數に抵抗せしかば、遂に飢魃の二字を空しく史上に殘すに至れり彼が殊に最期に至くは吾人をして漫に演劇上の興味を感せしむるものあり。

「追手の面々は搦手の固つきたりと見るや、一同美吉屋宅へ乘込んだ、錢平は彦次郎から見世の出口を固めてくれといはれ、一人にて少々心細く思つて居る所へ、同役岡村桂藏が密に跡を慕つて來たので、これ幸と桂藏に一緒に居て貰つた、五郎兵衛の女房は同心から謀を授けられ、吃驚しながら、鬼に角一同の先に立つて庭口に入り、もしくと聲を聽くるや、小路次を明けて姿を現はしたは平八郎其人である、彼は捕方の姿を見るやハタと戸を建容せた、脇差のみが見える、捕方は一足進んだ、平八郎とも言はるゝ者果快なりといふ小右衛門の聲に應じ、唯今御出るとの返事があつた、入口の錠平は同僚の路次口に詰客せたるを見て、最早表口に待つ要なしと、小路次を潜り、半棒振上げ正面の戸を叩けば、隙間より吹出しは焔硝の煙である、小右衛門、彌六、縫藏一同躍り込み、瞬時の内に戸障子を破つて屹度見渡せば、正面障子の中に人の臥姿がある、之には衣類障子等を立掛け、既に充分火が廻つて居る、平八郎は脇差を携へて壁際にそんで居るが、火の爲に近寄れない、アハヤといふ間に、彼は脇差を取直して咽喉を横に突立て、引抜いて投げた火は盛に燃上り、一同は我先と路次口へ逃出した、捕手の人數は中央に逃路を開き、兩側に並んで待つて居つたが、餘に手間取れるので、讃太郎、勇之助、正五郎三人戸口へ來て透見をすると、炎の中に坊主頭がチラ〳〵見える、扨は父子自滅と一同進んで漸く戸口を打壞し、責て死骸なりと引出したしと寄つたが、最早火氣熾にして如何とも仕難く、彦次郎の言葉に從ひ、火消人足に任せて引下つた」（頁三三七——三三九）

之を要するに、本書は史料を蒐集せる點に於て、只に前人の著に數歩を進めたるのみならず又鑑別取捨、分配綜合の諸點に就きても殆んど完璧に近く、近時史界の好著として切に江湖の一讀を乞ふ。

前號（第參卷第參號）目次

論説

勞働取引所論　堀江歸一
耕地整理の方針に對する一疑議（其二、完）　氣賀勘重
上總介忠輝（其五、完）　阿部秀助
女王ヴイクトリヤとパーメルストン　穀陸
最近の土地所有法改良運動　星野勉三

雜錄

海外經濟事情要報　堀江歸一
英國憲法上の危機　小倉和市
實際經濟政策に對する經濟學の意義　小泉信三
米國中央銀行設立問題（其二、完）　松田暢

新著紹介

ゴーダイン氏獨逸保護關稅影響論　堀江歸一
アッシュレー氏註ミル氏經濟原論　堀江歸一

次號（第參卷第五號）豫告

論説

直價考　福田德三
英國の銀行準備金問題（其二）　堀江歸一
論題未定　氣賀勘重
論題未定　田中一貞
論題未定　堀切善兵衛

雜錄

一千八百〇二年の英國工場法　高橋誠一郎
教育史上の自然主義（其二）　石田新太郎
遊戲の説（其二）　澤木四方吉
ギルケ教授の獨逸憲法論　小倉和市

原稿ハ凡テ左ニ宛テ御送附被下度候

市内麻布區狸穴町四十一番地

星野勉三

事務ヒノ一切ハ

市内芝區三田二丁目慶應義塾内

三田學會

ニ宛テ御送附被下度候

雑誌ノ御注文ハ凡テ發賣所へ宛テ御申込被下度候

原稿ノメ切期日ハ毎月卅日トス

定價　一冊金貳拾錢　郵稅金壹錢五厘
　　十二冊金貳圓四拾錢　郵稅共
　　郵券代用一割増

明治四十三年四月十二日印刷
同　四十三年四月十五日發行

發行兼編輯人　東京市麻布區新堀町七番地　神戸彌作

印刷人　東京市京橋區宗十郎町十五番地　中島丑之助

印刷所　東京市京橋區宗十郎町十五番地　合資會社東京國文社

發行所　東京市芝區三田慶應義塾内　三田學會

發賣所　東京京橋區築地二丁目　粮山書店
振替貯金東京二四一七

取次店　東京堂、有斐閣、上田屋、至誠堂、北隆館、東海堂、良明堂、（京都）東枝、寶文館、（大阪）盛文館、杉本、（九州）薪竹、（臺灣）新堂高、（清國）濱井

廣告主へ御注文の節は三田學會雑誌廣告によると御附記を望む